

## 会 議 録

会議の名称	平成25年度 第4回 飯塚市高齢社会対策推進協議会
開催日時	平成26年1月29日(水) 14時00分～14時38分
開催場所	飯塚市役所第2別館第2会議室
出席委員	澁田委員、市吉委員、志岐委員、白土委員、野見山委員、安永委員、谷垣委員、松浦委員、中村委員、仲上委員、岡松委員、花村委員、竹島委員、青柳委員、高須賀委員、田中(妙)委員
欠席委員	秦委員、藤延委員、田中(真)委員、平田委員
会議概要	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 指定地域密着型サービス事業所の指定について【新規】</p> <p>(2) 指定地域密着型サービス事業所の指定について【更新】</p> <p>(3) 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の取組みについて</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 指定地域密着型サービス事業所の移築整備について</p> <p>4 閉 会</p>
会議資料	<p>資料1 指定地域密着型サービス事業所の指定について【新規】</p> <p>資料2 指定地域密着型サービス事業所の指定について【更新】</p> <p>資料3 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の取組みについて</p> <p>資料4 指定地域密着型サービス事業所の移築整備について</p> <p>資料5 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の指定に係る記載事項</p>
公開・非公開の別	<p>① 公開                      2 一部公開                      3 非公開</p> <p>(傍聴者0人)</p>
その他	

(非公開理由等)	
会議内容	<p>①議題1：指定地域密着型サービス事業所の指定について【新規】</p> <p>平成24年に事業者募集説明会、事業者の公募申請、事業者選考会を経て、同年第3回高齢社会対策推進協議会において指定内示の承認を頂いたもの。事業所の開設にあたり新規指定申請を行うもの。事業所については、本年2月1日で指定をしようとするもの。当初申請から管理者変更の申し出があり、配付資料の差し替えを行うもの。新規指定を承認。</p> <p>(1)申請者：社会福祉法人 佐与福祉会 理事長 藤本正治</p> <p>種 別：地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護</p> <p>圏 域：鯉田地区</p> <p>名 称：特別養護老人ホーム ことぶきの森</p> <p>所在地：飯塚市鯉田696番地21</p> <p>定 員：29人</p> <p>指定年月日：平成26年2月1日</p> <p>有効期限：平成32年1月31日</p> <p>②議題2：指定地域密着型サービス事業所の指定について【更新】</p> <p>指定更新申請に基づく「認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護」2事業所について指定更新を承認。</p> <p>(1)申請者：有限会社 ケアサービス九州 代表取締役 荻田哲司</p> <p>種 別：認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護</p> <p>圏 域：二瀬地区</p>

名 称：グループホーム ふぁみりー伊川

所在地：飯塚市伊川1番1

指定更新年月日：平成26年3月1日

(2)申請者：社会福祉法人 光綾会 理事長 佐藤清

種 別：認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活  
介護

圏 域：二瀬地区

名 称：グループホーム 陽楽みずゑ

所在地：飯塚市川津87番地3

指定更新年月日：平成26年3月1日

③議題3：高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の取組みについて

高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の取組みについて資料に基づき説明を行う。

A委員：高齢者調査、在宅要介護者調査の調査項目に関して、「以下の在宅サービスを利用していますか。」の問いの訪問診療のところで、現在、歯科医師の訪問診療も行っているので、医師の訪問と一緒に歯科医師の訪問、また、医師や薬剤師などによる療養上の指導のところにも、歯科医師や歯科衛生士も居宅療養指導料があるので、できたら、歯科医師、歯科衛生士という言葉入れていただきたい。

事務局：ご要望にお応えしたいと思います。

※承認

④その他：指定地域密着型サービス事業所の移築整備について

本年第1回高齢社会対策推進協議会において、移築整備の報告をしていましたが、事業者より指定地域密着型（介護予防）サービス事業所整備計画書が提出されたため、具体的な事業所の移築整備について報告を行う。

申請者：有限会社 グループホームほほえみ 代表取締役 穴吹英樹

種別：認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活  
介護

名称：グループホーム ほほえみ

現所在地：飯塚市大分1442番地9

新所在地：飯塚市長尾928番地6

運用開始予定日：平成26年3月25日

その他

B委員：地域包括ケアについて、今年度、多職種間の事業所ごとの研修会などの取組みの経過報告をしていただければ今現在どういった状況か把握できるのではないかと思います。

（どれだけの数の人が集まったか、どういう職種の人が集まって、こういう勉強会を行ったか等）

事務局：在宅医療と介護の連携になると思いますが、地域包括ケアシステムについては、昨年、D委員の方から飯塚市として、何に取り組むのか、というご質問をいただきまして、飯塚市としては、地域支え合い事業等を使いまして、在宅医療と介護の連携に努めてまいります。とご報告させていただきました。在宅医療と介護の連携については、飯塚医師会を中心とした医療関係者、また、介護支援専門員等の合同会議を開催いたしました。まず第1回目は昨年の10月19日、飯塚コミュニティセンターにおいて開催しましたところ、168人の参加がありました。参加

の内訳としましては、医療関係者が 75 人、介護職が 93 人となっております。第 2 回目は 1 月 18 日、のがみプレジデントホテルで開催しまして、204 名の参加があったところであります。内訳については、集計中でご報告できませんが、後日報告の機会がありましたら、報告させていただきます。1 回目の研修会では、歯科医師会から口腔機能に関する基調講演を受けまして、在宅で誤嚥性肺炎を繰り返す高齢者の症例について、医療職、介護職でグループワークを行いました。第 2 回目は、飯塚市立病院から言語障害に対する取り組み、また言語聴覚士の方から、地域における言語聴覚士の役割としての基調講演を受け、在宅支援の在り方についてのグループワークを行いました。研修会終了後のアンケートや意見交換会では、医療側からは、診療時以外の日常生活の情報を得られること、介護側からは、直接、医療側の意見を聞け、介護サービスの観察性に大いに役に立ちます。また双方から在宅生活を支えるための、医療と介護の連携に繋がっていくとのご意見をいただいたことで、今後も同様の研修会を続けてほしいという要望がありました。また、飯塚市の取り組みにつきましては、愛知県豊田市の豊田地域医療センターと藤田保健衛生大学から視察にいられて、運営のありかたについて、大変参考になったとお礼を言われております。また、この取り組みの中で飯塚医師会の方では、地域リーダー研修というものがございまして、医療・専門職・保健師・地域包括支援センター・行政等細かい職種の中で、リーダーを育成していただく研修会を開いていただいております。こういったことで、飯塚市における医療と介護の連携とういうのは他市に比べまして、一歩先に進んでいるのではないかと考えています。

C 委員 : 市で決定しなければならない幅が前と違って大きくなるので、今研修をされている状況で、具体的に政策を作っていかなければいけないというのが目の前に来てる。

これからは全国的にみたら取り組みの差が大きく違ってくる  
ことが予測されることなので、先行して頑張って研修してもら  
っているのは、喜ばしいことですが、そのことと今後の政策  
をたてる時の個々の役割を考えた時に大丈夫かなという感じを  
もっていますけど。

B委員 : 私の私見としましては、平成 27 年度からの介護保険法改正に  
地域包括ケアと予防の 2 つの大きな目玉としてある。それから  
いろんな内容的に入っていくわけですが、まだ現在はっきり  
してないが、ほぼ恐らくこういった状況でいこうという感  
じですね。それで最後に他の市より一歩進んでいる状況だと感  
じておりますと、ということは、非常に嬉しいことなんですけ  
ども、その状況で今、どこら辺りまでされているのか、感触と  
してどうなのかというのを今の段階で私としては知りたかつ  
た。今の状況で、次の計画がそのまま進むのは当然考えられま  
せん。ただ今の状況のままで、その状況で計画的に確実に進む  
とも、それも何とも言えない状況だと思う。しかし今の状況を  
踏まえてからでないで明日からの分に進まないと思います。